

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

1. 実施した計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等名	湯沢市						
地域内総人口（人）	44,963						
地域総面積（km ² ）	790.91						
地域の要件	豪雪	山村	過疎				
地域の要件がその他の場合は具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ. 計画実施期間

開始年月日	令和2年4月1日
終了年月日	令和7年3月31日
計画期間	5年

2 目標の達成状況

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		平成30年度現状		令和6年度目標		令和6年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	12,941人	28.8%	14,663人	37.2%	12,641人	32.3%
	農業集落排水施設等	2,296人	5.1%	2,703人	6.9%	2,220人	5.7%
	合併処理浄化槽等	10,148人	22.6%	8,189人	20.8%	9,866人	25.2%
	小計：汚水衛生処理人口	25,385人	56.5%	25,555人	64.8%	24,727人	63.1%
	単独処理浄化槽等	3,347人	7.4%		0.0%	3,137人	8.0%
	非水洗化人口	16,231人	36.1%	13,892人	35.2%	11,307人	28.9%
	小計：未処理人口	19,578人	43.5%	13,892人	35.2%	14,444人	36.9%
	合計：総人口	44,963人	100.0%	39,447人	100.0%	39,171人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量	15,590キロリットル		13,677キロリットル		10,020キロリットル	
	浄化槽汚泥量	16,531キロリットル		14,458キロリットル		15,826キロリットル	
	合計	32,121キロリットル		28,135キロリットル		25,846キロリットル	

3 目標達成に向けた施策状況

目標指標	目標達成への施策状況
ア. 一般廃棄物の排出量に関する事項	
イ. 一般廃棄物の再生利用量に関する事項	
ウ. 一般廃棄物の最終処分量に関する事項	
エ. 一般廃棄物のエネルギー回収量に関する事項	
オ. 処理形態別人口に関する事項	
カ. し尿・汚泥の量に関する事項	
その他	浄化槽設置整備事業 事業実施期間：令和2年度～令和6年度 実績：合併処理浄化槽159基（5人槽135基、7人槽21基、10人槽3基）

4 目標の達成状況に関する評価

本市では、湯沢市循環型社会形成推進地域計画（令和2年度から令和6年度まで）において、合併処理浄化槽300基（5人槽100基、7人槽200基）を整備する計画であった。計画期間内に整備した基数は159基（5人槽135基、7人槽21基、10人槽3基）であったが、合併処理浄化槽等処理人口は9,866人で目標を達成できた。 公共下水道と集落排水施設等の処理人口はどちらも目標を達成することはできなかったが、下水道事業の計画区域の変更により合併処理浄化槽区域に移行した市民に対し周知チラシの配布や浄化槽設置補助金制度の相談会を開催して、汚水衛生処理人口の増加を図った。 今後も住宅の新築やリフォームに伴い、一定量のニーズが見込まれることから、令和7年度以降も引き続き事業を実施する。
--

(都道府県知事の所見)

合併処理浄化槽等については汚水衛生処理人口の伸びは少なかったものの、全体の汚水衛生処理人口は平成30年度から令和6年度までに約7%増加し、汚水衛生未処理人口についても、少しずつ減少していることから、生活排水処理の改善に寄与したと考えられる。今後も引き続き浄化槽整備の推進に取り組んでいただきたい。
--

※令和6年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

1. 実施した計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等名	湯沢市						
地域内総人口（人）	44,963						
地域総面積（km ² ）	790.91						
地域の要件	豪雪	山村	過疎				
地域の要件がその他の場合は 具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ. 計画実施期間

開始年月日	令和2年4月1日
終了年月日	令和7年3月31日
計画期間	5年

2 目標の達成状況

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		平成30年度現状		令和6年度目標		令和6年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	12,941人	28.8%	14,663人	37.2%	12,641人	32.3%
	農業集落排水施設等	2,296人	5.1%	2,703人	6.9%	2,220人	5.7%
	合併処理浄化槽等	10,148人	22.6%	8,189人	20.8%	9,866人	25.2%
	小計：汚水衛生処理人口	25,385人	56.5%	25,555人	64.8%	24,727人	63.1%
	単独処理浄化槽等	3,347人	7.4%		0.0%	3,137人	8.0%
	非水洗化人口	16,231人	36.1%	13,892人	35.2%	11,307人	28.9%
	小計：未処理人口	19,578人	43.5%	13,892人	35.2%	14,444人	36.9%
	合計：総人口	44,963人	100.0%	39,447人	100.0%	39,171人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量	15,590キロリットル		13,677キロリットル		10,020キロリットル	
	浄化槽汚泥量	16,531キロリットル		14,458キロリットル		15,826キロリットル	
	合計	32,121キロリットル		28,135キロリットル		25,846キロリットル	

2 目標が達成できなかった要因

生活排水の処理において、汚水衛生処理人口の目標を達成できなかった。 人口の減少や高齢者世帯の増加により公共下水道と集落排水施設の污水处理人口が目標を下回る結果となったことが要因として考えられる。
--

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和11年度まで 湯沢市の総人口は令和11年度末には35,300人まで減少する見込みであるが、市ホームページや広報等による情報提供を行い、水源地域として生活排水対策の必要性を啓発し、汚水衛生処理人口の増加を目指す。

(都道府県知事の所見)

合併処理浄化槽の普及拡大については、環境保全に対する意識を高め、県民と行政とが一体となって進めていくことが重要である。改善計画書に示す啓発活動を積極的に推進することで、目標を達成するよう努めていただきたい。

※令和6年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。